

学生と企業人の本音トーク3



若者の県内定着、県内への還流を促進するために、青森県立保健大学が進めている「多様性のある職場づくり推進事業」の一環として、昨年度に引き続き「学生と企業人の本音トーク3」が開催された。

今回は、県内企業の意識改革と若者の県内定着に焦点を絞り、経済界の代表として青森商工会議所の西副会頭をはじめ4名の企業人と県内大学の学生6名、そしてアドバイザーとして、株式会社東京堂が一堂に会し本音で語り合うことで、多様性のある職場づくりを推進し、役立ててもらおうとともに、若者の県内定着に結び付けることを目的としたものである。

【村上准教授】「ダイバーシティ経営のこれまでとこれから」と題し、株式会社東京堂の常務執行役員沼澤さんからまずはお話を頂戴し、その後、参加者とテーマに沿った本音の意見交換を進めたいと思います。それでは、沼澤さん、よろしく願いいたします。

【沼澤（株東京堂常務執行役員）】
株東京堂事業について紹介。

～（株東京堂について）～

- ・創業 1947年（昭和22年）
- ・従業員数 50名（2022年10月末現在）
- ・事業拠点 本社（むつ市）、青森店、八戸店、秋田店、三沢支店
- ・事業内容
オフィス環境トータルプランニング事業、音楽教室運営事業、行政指定管理運営受託事業、ステーションリー・ライフスタイル、雑貨セレクトショップ運営

～特徴的な取り組み～

- ①資格取得に向けた取組の整備
 - ・テキスト代や受験料補助・就業時間内の勉強OK
 - ②「みんなで思いやり配慮ルール」
時間的な配慮をすることで、従業員の勤務を仲間同士お互いにサポートしながら働き続けることの出来るルールの設定。例えば・・・
 - ・下校時間に合わせた一時帰宅
 - ・デイサービスの送迎 など
 - ③健康経営
 - 適切な働き方実現に向けた取組み ■検診受診勧奨の取組み ■運動機会の増進 ■病気になっても働き続けられる職場環境
- ※表彰や認定の実績
平成30年度新・ダイバーシティ経営企業100選に選出
厚生労働省くろみん認定
青森県おもりのイクボス宣言企業
令和4年度「おもりのキャリア教育応援企業表彰」

【村上准教授】沼澤さん、ありがとうございました。では、質問、感想、皆さんからいかがでしょうか。

【葛原（弘前大学）】「みんなで思いやり配慮ルール」の中で、1時間単位の有給休暇があるという話だったのですが、具体的に柔軟なことなのかイメージが湧かないので、お

話いただけないでしょうか。

【村上准教授】企業人の方々からも回答をお願いいたします。

【氏家部長】企業によって考え方は様々ですが、当社で言えば、規定された作業のノルマがある中で、バランスがとれることが必要となる。色々な休み方があって皆で補いながらやるというのは、今では常識になりつつあると思うが、企業側の努力がいたると思いました。

【高清水専務】当社は女性が多く、産休を私も2度経験した。「あの時は私が助けてもらったから」で助け合いの実績を積み重ねていくことが大事。当社でも子供さんが小さい方は短時間勤務にしたり、時間を調整したりしている。

【沼澤常務】法律上は、例えば有給は半日単位とかすらなく、1日単位でしかとれないという最低限の就業規則でもいい。けれども、働き方が多様化する中で、従業員と話せば、ちゃんと時代に反映されて就業規則も変化していけると思う。

【高西専務理事】伸びる会社の典型と思えるお話。コミュニケーション、人を大事にされているのが伝わってきた。社員の健康こそが最も大事な経営資源だと私も思った。地域貢献していることが社員のモチベーションというお話に共感した。

【竹内（青森県立保健大学）】産業理学療法士とか、企業に勤める職種があると思うのですが、企業に専門性を持って理学療法士が関わる領域やニーズというのは、どれほどあると思いますか。

【沼澤常務】弊社にも理学療法士がいるんですけど、資格を活かす前提で入社したわけではない。ただ、関連会社でスイミングスクールの運営を始めたんですが、シナジーを出す中で、心身共に健康寿命をどう延ばしていくことが重要か考えていて、理学療法士の視点からプログラムを作ったりサポートできたりしないかなど話している。ひとつの企業というよりは、複数の企業を股にかけるような考えを持てると楽しいかもしれない。

セッション1：働きたい職場とはどんな職場？

【葛原（弘前大学）】私たちの班で、大事な点として、待遇の面と向上心や価値観が統一されているかの2点をグループで話しました。待遇の面では、業種でだいぶ異なる

るかなと思うので、会社全体を知るのが学生側としては大事となった。会社の目標を知るといことは大事で、その過程で個性を知るとか学生の面接中に違う人に同じ質問をし、会社の風土や価値観を知るの大事ではないかという話になった。

【村上准教授】 企業の人々が学生に示していくことが重要ですね。

【テン（青森中央学院大学）】 賃金・きれいな環境、育児の制度などの働きやすさという3つの点にまとまった。いいところがあれば働きたいと思いました。

【熊谷（青森中央学院大学）】 私たちのグループでは、顧客満足だけでなく、従業員の満足度が高い企業さんがいいのかなと思った。東京堂さんのカフェの様な働きやすいオフィスや、資格取得支援の制度をご紹介いただいたりしましたが、顧客はもちろん大事だが、従業員も大切にされる企業で働きたい。

チームワーク、助け合いがある企業を創るということで、色々な人がいた方がよりよい環境を作っているの、チームワークや良好な人間関係を大切にしている職場がいいなと思った。

【竹内（青森県立保健大学）】 賃金という話題がありました。東京の友人が同じアルバイトや仕事をしてるのに賃金は私の方が少ない。向こうよりも人手が少なく仕事の負担は重いはずなのに、賃金は低いことへ違和感を感じている。

【西副会頭】 たしかに。平均賃金は地域差があって、青森は安い方にランクインしている。ただ、それ以前の条件として地域の生活のしやすさの中では、賃金の絶対値が生活の優劣を決定づけているわけではないと思っている。ただ、物価高が進み、全国的にもそうだが、青森の賃金環境も変わっていく流れになるように思う。

【葛西専務理事】 以前、ファイナンシャルプランナーが青森で暮らす場合と東京で暮らす場合の比較調査をしたことがあって、調査結果の一例では、65歳くらいになれば貯蓄額もそんなに変わらないようなお話を伺った。目先の給料以外の視点がいるのかもしれない。



参加学生と意見を交わす西副会頭

セッション2:若者が青森で働き、活躍するためには?

【氏家部長】 今の若い方は、出世意欲があまりなく、企業の中で活躍していくという意識が減っているように思う。そういう方もどういった活躍をして行くかを考えて個性を發揮できるようにしていくのが大事。今日の参加者は、活躍したい意識があるので、会社の問題解決をして行くとかそういうお仕事をしていければ、自ずと活躍していけるのではないかと思います。

【葛原（弘前大学）】 青森で働く場所がまず少ないというのがあると思う。友人に理学療法士とか専門職の友人がいますが、結局、資格を活かす就職先がなくて東京に行くことにしたとかになるので、もっと起業とかで想いを発信し形にしていく補助や支援をしてもらいたいという考

えの人たちもいると思う。皆さんと話したのは、UターンやIターンに老後プランのイメージまで想像ができればいいと思った。外国人の方の働くことへの価値観やニーズのすり合わせも青森で働いてもらうためには今後必要だと思う。

【西副会頭】 起業支援は、青森商工会議所も青森市をはじめとした関係団体と力を入れている。そういった方々にはぜひ相談してほしい。

【村上准教授】 ビジョンが見えなくて青森で働けないという考え方の人が多いのかなという印象でしょうか。外国人の話も出ましたが、青森県内で働くとか考えたりしますか。

【スーサクン（青森中央学院大学）】 外国人がレストランやコンビニで働いている姿をけっこう見かけます。ゆっくりした生活、働きやすいという意味ではいいところかもしれない。

【テン（青森中央学院大学）】 安定した生活、ゆっくりした生活を追求するにはいいところだと思いますけど、お金持ちになりたいなら第一志望にはならないかなと思います。

【竹内（青森県立保健大学）】 若いうちから自分はこんなふうには活躍できるとか考えられる人は少ない。こういう活躍できる場所があるんだとか「自分がこうやって活躍できる情報」というのが得られる場所や機会を作っていただくと、青森で働くキッカケになるのではと思いました。

【清水専務】 青森で暮らす魅力を伝える努力が企業に必要と決意を新たにしました。

【葛西専務理事】 若いときは、青森に帰っても自己実現って難しいと思っていた。東京の大企業に入ったから自己実現できるのではなくて、地方でも自分の力を存分に發揮できるステージがあれば十分に幸せでいられると私自身実感しているので、みなさんにもこの気持ちをお伝えしたい。

参加者 (敬称略)

【企業人】	
青森商工会議所 副会頭	西 秀記
青森商工会議所 専務理事	葛西 崇
株NTTデータ・スマートソーシングBPO事業本部	
青森業務担当部長 推進リーダー	氏家 憲二
株式会社エール・キャリアスタッフ 専務	清水 勇子
【学生】	
青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科 4年	竹内 桃子
弘前大学 人文社会科学部 3年	葛原 功太
青森公立大学 経営経済学部地域みらい学科 2年	小野 優香
青森中央学院大学 経営法学部経営法学科 3年	熊谷 翼
青森中央学院大学 経営法学部経営法学科 4年	
スーサクン	ドゥアングモン
青森中央学院大学 経営法学部経営法学科 4年	テン ユウジ
【アドバイザー】	
株式会社東京堂 常務執行役員	沼澤 英理
【司会進行】	
青森県立保健大学 健康科学部看護学科准教授	村上真須美

